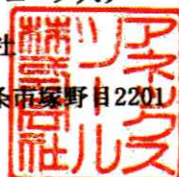


令和 4年 11月 9日

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : ネジすべり止め液 10gチューブ入り
会社名 : アネックスツール株式会社
住所 : 〒955-0055 新潟県三条市塚野目2201
電話番号 : 0256-32-6321
FAX番号 : 0256-32-6373



2. 危険・有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

: 火薬類	: 分類対象外
: 可燃性／引火性ガス	: 分類対象外
: 可燃性／引火性エアゾール	: 分類対象外
: 支燃製／酸化性ガス	: 分類対象外
: 高圧ガス	: 分類対象外
: 引火性液体	: 区分外
: 可燃性固体	: 分類対象外
: 自己反応性化学品	: 分類対象外
: 自然発火性液体	: 区分外
: 自然発火性固体	: 区分外
: 自己発熱性化学品	: 分類できない
: 水反応可燃性化学品	: 分類対象外
: 酸化性液体	: 分類対象外
: 酸化性固体	: 分類対象外
: 有機過酸化物	: 分類対象外
: 金属腐食性物質	: 分類できない

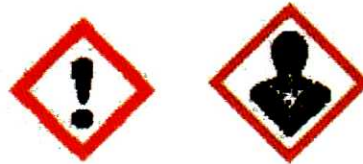
健康に対する有害性

: 急性毒性（経口）	: 区分4
: 急性毒性（経皮）	: 分類できない
: 急性毒性（吸入：ミスト）	: 分類できない
: 急性毒性（吸入：蒸気）	: 分類できない
: 急性毒性（吸入：粉塵）	: 分類できない
: 皮膚腐食性／刺激性	: 分類できない

	：眼に対する重篤な損傷／眼刺激性	：分類できない
	：皮膚感作性	：区分 1
	：呼吸器感作性	：分類できない
	：生殖細胞変異原性	：区分外
	：発がん性	：区分 1 A
	：生殖毒性	：区分外
	：特定標的臓器／全身毒性（単回暴露）	：区分 1 （呼吸器系）
	：特定標的臓器／全身毒性（反復暴露）	：区分 1 （呼吸器系、腎臓）
環境に対する有害性	：吸引性呼吸器有害性	：分類できない
	：水生環境急性有害性	：区分 3
	：水生環境慢性有害性	：区分外
	：オゾン層への有害性	：分類できない

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険有害性

警告

飲み込むと有害

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

発がんのおそれ

呼吸器系の障害

長期にわたる又は反復ばく露による呼吸器系、腎臓の障害

水生生物に有害

注意書き

：安全対策

換気の良い場所でのみそようすること。

この商品を使用するときは、飲食又は喫煙しないこと。

取扱い後は、よく手を洗うこと。

適切な保護手袋、保護メガネ、可能であれば保護面を着用すること。

環境への放出を避けること。

：救急処置

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪いときは、医師に連絡すること。

飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。気分が悪いときは、医師に連絡すること。

目に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。

次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合は、医師の診断を受けること。

皮膚（または髪）に付着した場合：直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を流水、シャワーで洗うこと。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。

：保管

容器を密封して保管すること。

：廃棄

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

情報なし

国／地域情報

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分

： 混合物

成分及び含有量

①ケイ酸化合物	約41%
②トリエタノールアミン	約2.5%
③非イオン界面活性剤	非公開
④安定剤	非公開
⑤イオン交換水	バランス

官報公示整理番号

：①③④非公開

②(2)-308

CAS. NO

：①③④非公開②102-71-6

4. 応急処置

吸入した場合

：新鮮な空気のある場所に移動させ安静にし、必要に応じて医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合

：直ちに多量の水および石けんで洗い流す。水泡、痛みなどの症状が出た場合には、必要に応じて医師の診断を受ける。

眼に入った場合 : 直ちに清浄な水で15分以上洗眼した後、医師の診断を受ける。すぐに痛みがなく視力に影響がなくても障害が遅れて現れることがあるので、必ず医師の診断を受けること。

飲み込んだ場合 : 水でよく口の中を洗浄する。無理に吐かせず、気分が悪いときは、医師の診断を受ける。

最も重要な兆候及び特徴に関する簡素な情報 : 情報なし

応急処置をする者の保護 : 被災者を救助する場合は、状況に応じて適切な保護具を着用する。

医師に対する特別注意事項 : 情報なし。

5. 火災時の措置

消化剤 : 二酸化炭素、粉末消化剤、散水、噴霧水

特有の危険有害性 : 情報なし

特有の消火方法 : 散水以外の消化剤で消火効果がない大きな火災の場合には散水する。危険でなければ火災区域から容器を移動する。移動不可能の場合、容器及び周囲に散水して冷却する。消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。

消火を行なう者の保護 : 消火作業では、適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク等）を着用すること。

5. 漏出時の措置

人体に対する注意事項 : 漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。

保護具及び緊急時措置 : 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。関係者以外の立ち入りを禁止する。作業者は適切な保護具（8. 暴露防止及び保護措置の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。漏洩しても火災が発生しない場合、密閉性の高い、不浸透性の保護衣を着用する。適切な保護衣を着けていないときは破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけない。風上に留まる。低地から離れる。密閉された場所に立ち入る前に換気する。

環境に対する注意事項 : 河川などに排出され、環境へ悪影響を起こさないように注意する。環境中に放出してはならな

	い。
回収、中和	: 少量の場合、乾燥土、砂、不燃材料で吸収し、あるいは覆って密閉できる空容器に回収する。後で廃棄処置する。少量の場合、吸収したものを集めるとき、清潔な帯電防止工具を用いる。大量の場合、盛り土で囲って流水を防止し、安全な場所に導いて回収する。
封じ込め及び浄化の方法・機材	: 危険でなければ漏れを止める。漏出物を取り扱うとき用いる全ての設備は接地する。
二次災害の防止策	: すべての発火源を速やかに取り除く。排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。
7. 取り扱い及び保管上の注意	
取り扱い	
技術的対策	: (8. 暴露防止及び保護措置) に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
局所排気装置・全体換気	: (8. 暴露防止及び保護措置) に記載の局所排気、全体換気を行なう。
安全取り扱い注意事項	: すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。取り扱い後はよく手を洗うこと。眼に入れないこと。接触、吸入または飲み込まないこと。室外又は換気のよい区域でのみ使用すること。
接触回避	: (10. 安定性及び反応性) を参照。
保管	
技術的対策	: 保管場所の床は、床面に水が浸入し、又は浸透しない構造とすること。保管場所の床は、危険物が浸透しない構造とするとともに、適当な傾斜をつけ、かつ、適当なためますを設けること。
混触禁止物質	: (10. 安定性及び反応性) を参照。
保管条件	: 容器を密閉して換気の良い冷所で保管すること。菌汚染の恐れがあり、開封後はなるべく早くご使用下さい。
容器包装材料	: 情報なし
8. 暴露防止及び保護措置	

管理濃度	: 設定されていない。
許容濃度	
日本産業衛生学会	: 設定されていない。
ACGIH	: 設定されていない。
設備対策	: 取り扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。できるだけ密閉された装置を使用し、全体換気を適正に行うことが望ましい。
保護具	
呼吸器の保護具	: 防塵マスク、簡易防塵マスク
手の保護具	: ゴム保護手袋
眼の保護具	: 保護眼鏡（側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型）
皮膚及び身体の保護具	: 保護服、保護長靴、保護前掛け等
衛生対策	: 情報なし

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态、形状、色など	: 黒色ペースト
臭い	: 機材臭
PH	: 7.5～9.5（1%水）
融点・凝固点	: データーなし
沸点、初留点及び沸騰範囲	: データーなし
引火点	: データーなし
比重（密度）	: データーなし
溶解度	
水溶解性	: 水に分散（一部沈殿）
溶媒溶解性	: データーなし
粘度	: 100,000 c/p 以上（25℃）

10. 安定性及び反応性

安定性	: 通常の使用で安定。
危険有害反応可能性	: 情報なし
避けるべき条件	: 情報なし
混触危険物質	: 情報なし
危険有害な分解生成物	: 情報なし

11. 有害性情報

急性毒性	: 情報なし
皮膚腐食性・刺激性	: 情報なし
眼に対する重篤な損傷・刺激性	: 情報なし

呼吸器感作性又は皮膚感作性：皮膚感作性（区分1）

生殖細胞変異原性：情報なし

発ガン性：区分1A

生殖毒性：情報なし

特定標的臓器・全身毒性―単回暴露：区分1（呼吸器系）

特定標的臓器・全身毒性―反復暴露：区分1（呼吸器系、腎臓）

吸引性呼吸器有害性：情報なし

12. 環境影響情報

生態毒性：情報なし

魚毒性：情報なし

残留性／分解性：生分解性；データーなし

BOD；データーなし

COD；データーなし

生態蓄積性：情報なし

土壌中の移動性：情報なし

環境基準：情報なし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物：廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。

都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行なっている場合にはそこに委託して処理する。廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分に告知の上処理を委託する。

汚染容器及び包装：容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行なう。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国連分類：非該当

国連番号：非該当

国内規制：非該当

輸送の特定の安全対策及び条件：容器にもれないことを確かめ、容器の転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にしなう。直射日光を避ける。

15. 適用法令

化学物質管理促進法（P R T R）	：非該当
労働安全衛生法	：トリエタノールアミン
毒物及び劇物取締法	：非該当
化審法 第2種特定化学物質	：非該当
消防法	：非該当
船舶安全法	：非該当
航空法	：非該当
海上法・海洋汚染防止法	：非該当

16. その他の情報

記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。すべての化学製品には未知の有害性がありうるため、取り扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定下さるようお願いします。また、注意事項等は通常の取り扱いを対象としたものなどで、特別な取り扱いをする場合には、新たな用途・用法に適した安全対策の実施の上でご使用ください。